

三笠高校と議会との意見交換会 開催結果報告書

1 開催日時

平成 27 年 10 月 22 日（木） 午前 10 時 30 分～11 時 17 分

2 場 所

三笠市議場

3 参加者

- (1) 三笠高校 3 年生 39 名
- (2) 議 員 8 名

4 議会報告

- (1) 議会のしくみ
- (2) 議会の活動状況

5 意見交換 【テーマ：高校生活 3 年間で感じた三笠のまちづくりについて】

(1) 質疑応答

ア 三笠市に特産品を扱ったレストランや三笠ドームもスポーツだけではなく、コンサートや様々な催し物を行い魅力あるまちとしてほしい。

- ・三笠市の特産品づくりは各団体でおこなっているが、市民や飲食店にお願いしているのは、三笠高校生が一生懸命メニュー作って宣伝効果あげてくれているから、メニューをアレンジするなどの特産物を考えてほしいし、現在、高校生レストランの方向付けを含めて考えている。
- ・三笠ドームについては、今はスポーツのみであるが文化的な要素を含めたことについては参考にさせてもらいたい。

イ 三笠市のコマーシャルからも解るが市が何を中心としてまちづくりのPRしたいのか解らない。

- ・企画の問題と思うが、高校生の意見として行政側に伝えていきたい。

ウ 三笠市街地や幾春別地区をもっと充実させてほしい。

- ・昭和 35 年頃は 63,000 人位いたが現在は 9,300 人台になっている。当時は、炭鉱がありそれぞれ人が住んでいたが今は過疎化しているため、三笠市を集約してコンパクトシティにしていかなければならない。三笠市街を中心として居住して医療、福祉、買い物、市民の足を守るなどのコンパクトなまちにしていかなければならない。そうすると、各地域には人が居なくなるから、そこをどう進めていくかが課題であるため、今後のまちづくりについて検討・研究をしているところである。

エ 三笠高校には現在学科が少ないが他の学科を新設する予定はないのか。

- ・子どもの出生率が少なくなっていく中で、新たな学科を作るのは難しい。今はこれだけの優秀な生徒がいるので当面このままがんばっていきたい。

オ 三笠市の若い世代の定住政策について何か考えている事はあるのか。

- ・三笠市に引っ越して結婚して子供が 2 人生まれ中学校卒業するまでには総額 850 万円の効果はある。今後も若い世代に三笠に住んでもらえるようにいろんな政策を進めている最中である。

カ 若者のために雇用機会を作ってほしい。

- ・移住定住対策をやっていて、子供への政策はあるが、世帯主の働く場所がない。三笠にも工業団地等はあるが、入ってくるより撤退していく方が多くなっている。三笠高校生を中心とした高校生レストランをつくって市内業者の方がメニューを開発して、皆さん方がいずれ三笠にもどってきてそこで働いてもらえるよう、雇用の拡大を図っていかなければならないと思っている。

キ 高齢者のための施設は多いが子供も楽しめるような施設を増やしてほしい。

- ・三笠市にカラオケがない。経営者がやろうとしてもお客さんがこないと経営が成り立たない。北海道もそのような所がたくさんある。皆さんから色んな知恵をもらってシステムづくりを取り組めればよいと思っている。

ク 起業について一貫性がない。何を目標にして進めていくのか。

- 多角的な経営を行っている企業もあるが、収益性があるかないかを見極めて雇用につなげていけるように、市や国の制度を活用しながら進めていきたい。
- 行政側は総合戦略として、色んな計画を考えているし、もし興味があるなら色んな制度があるので市役所に相談してみしてほしい。

ケ 三笠市がどんな支援をしているのかより分かりやすくPRした方が良い。

- もっと内容について詳しく的を得たものとするように議会から行政側に伝えていきたい。